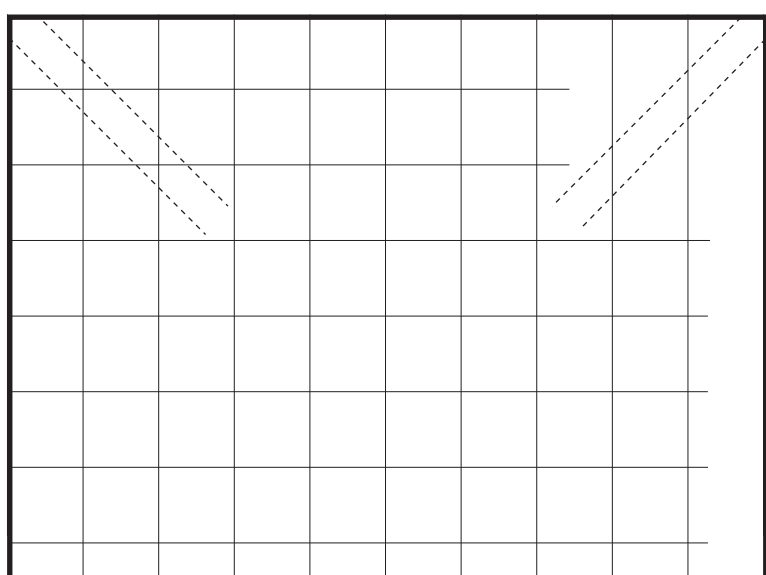
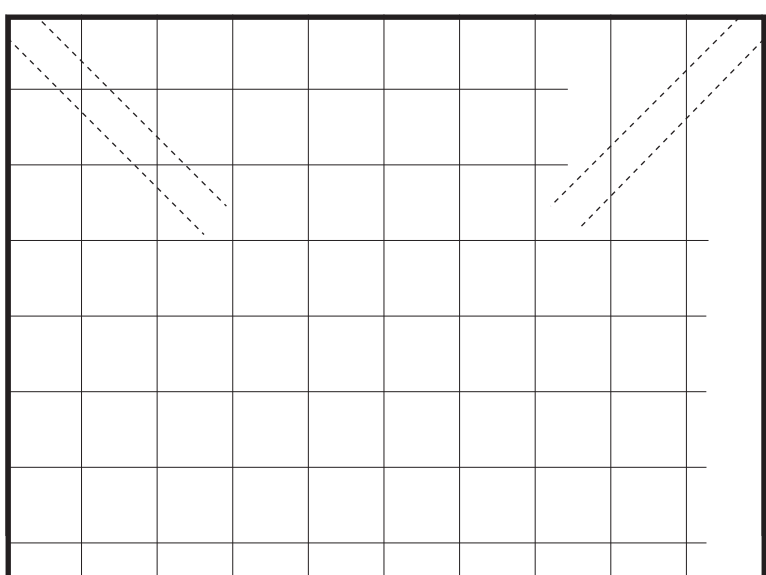
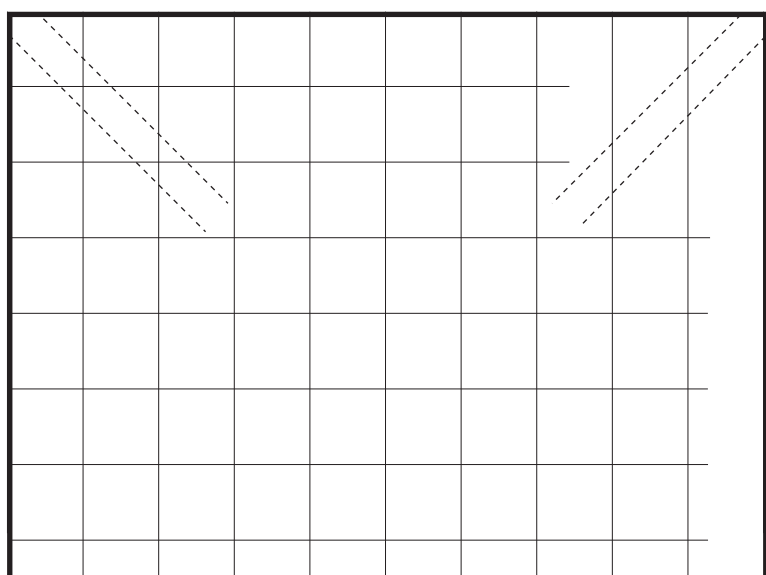
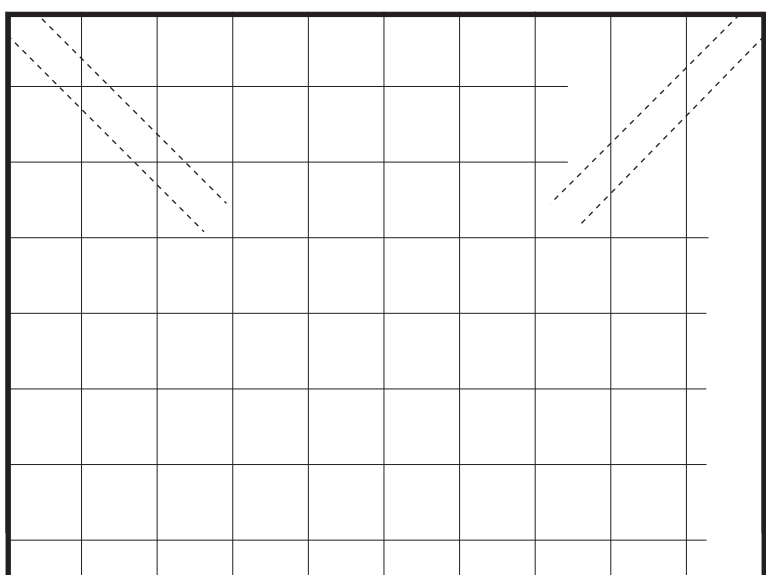
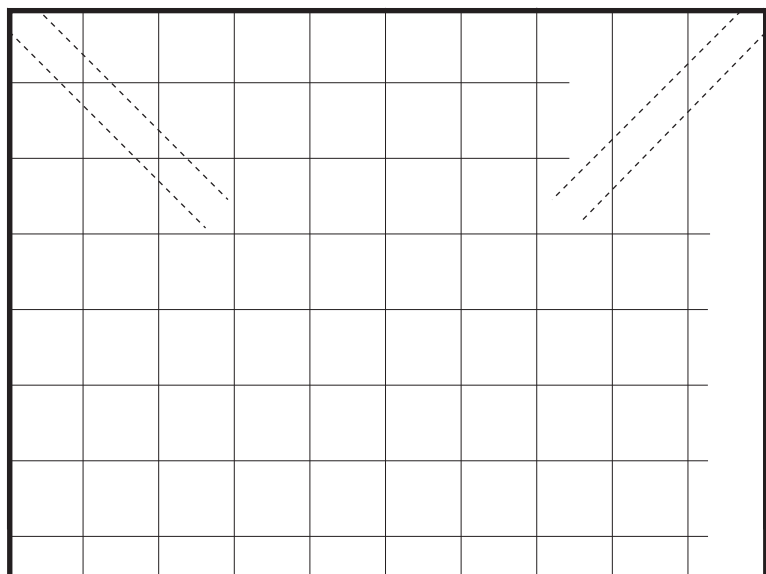
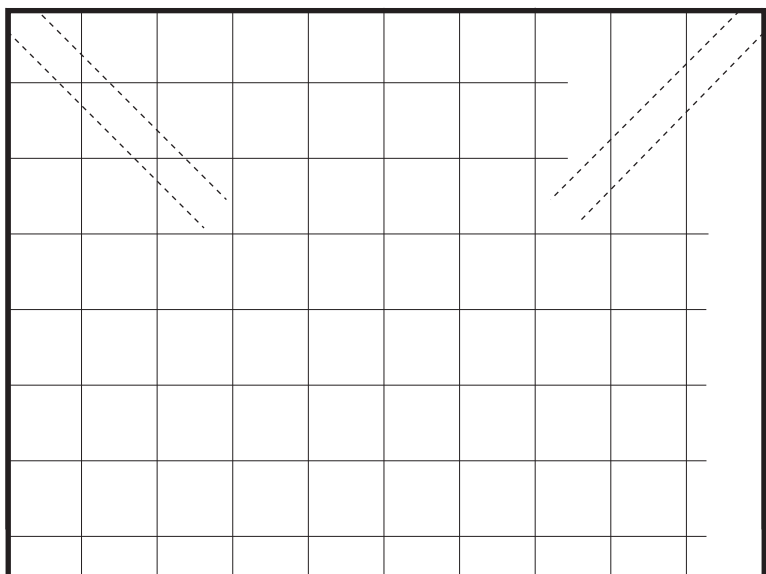
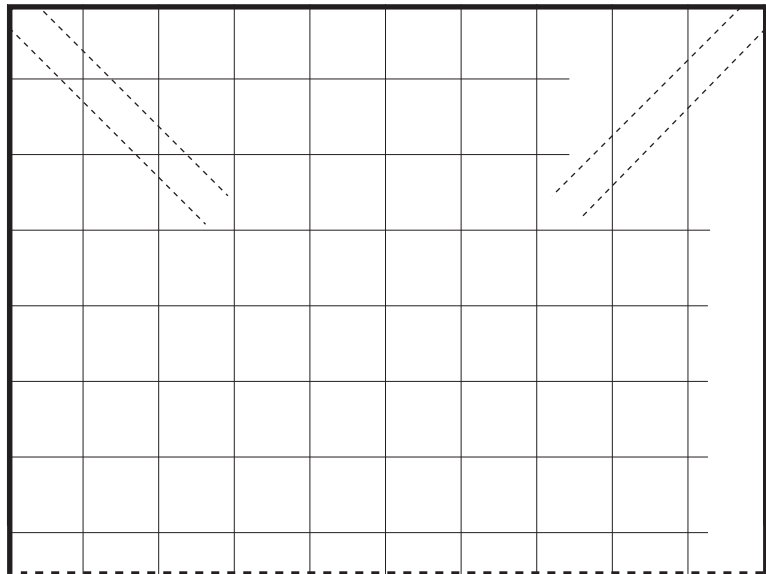
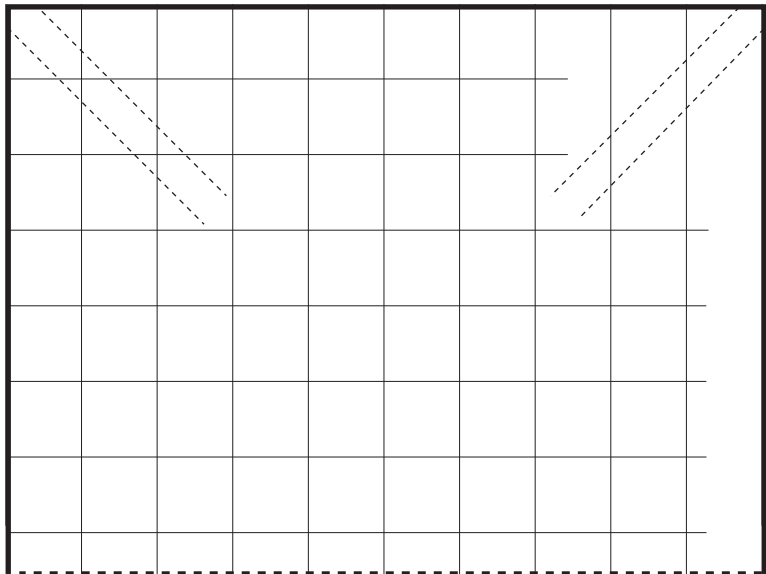


図エプリント 「形をつないで」 ①

年 組 名前 _____

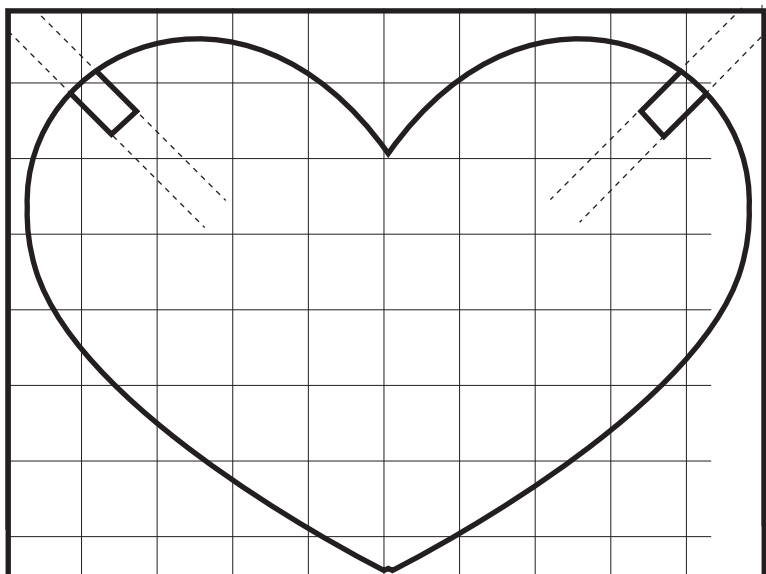
○つなげる形を考えて方眼に描きましょう。3枚重ねて3回切ることで、9個の形ができます。同じ形を9つにすることも、2種類か3種類の形のにすることもできます。



図エプリント 「形をつないで」 ②

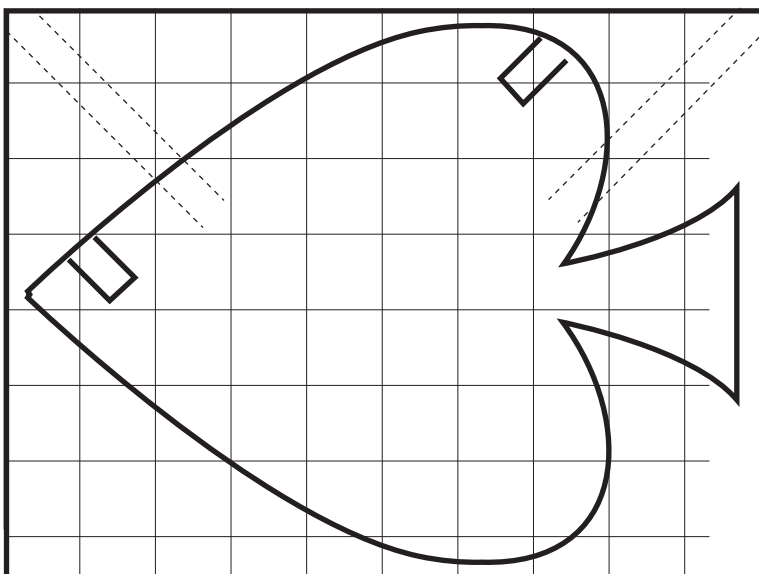
○この面の例を参考にして、つなげる形を考えて方眼に描きましょう。

【例1】



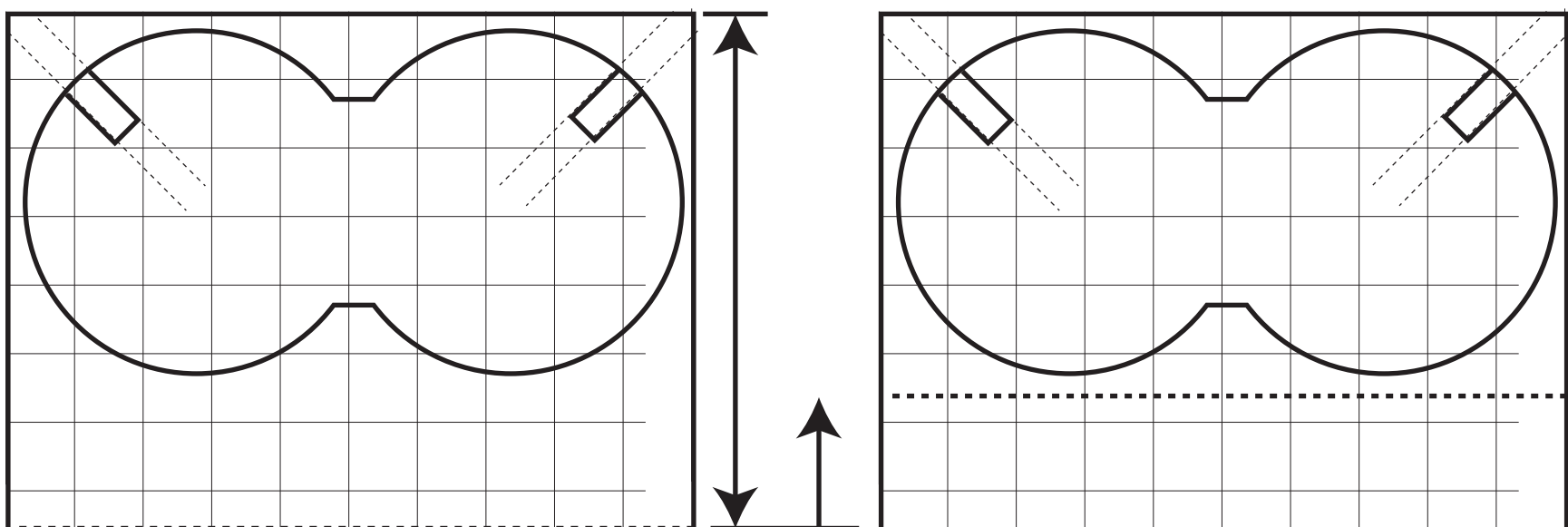
9等分した板に丁度入るぐらいの大きさ図案です。切り込みもほぼ端に入れることができます。

【例2】



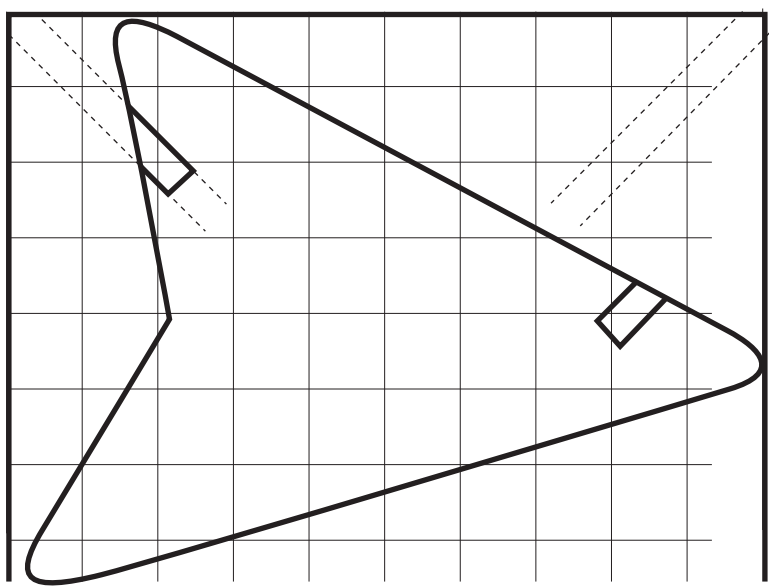
板を縦長に使った図案です。切り込みの位置を工夫する必要があります。

【例3】



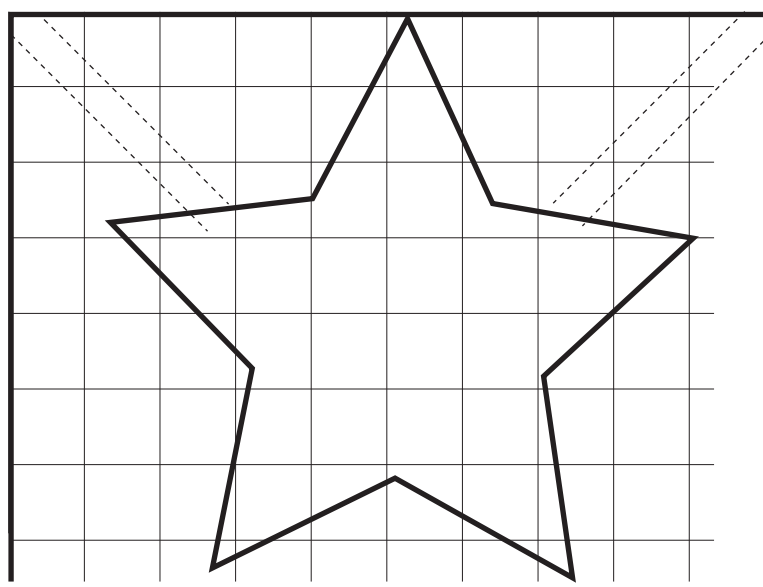
横方向は丁度いい大きさですが、下がすこし空いてしまいました。このままだともったいないので、板を9等分する位置を変更してもいいでしょう。(複数の形を切る場合は一番大きい形に合わせます。)

【例4】



鋭い形は、先を少し丸く描くか、板を切ってからやすりで鋭い部分を削ります。切り込みの位置にも注意しましょう。

【例5】



星や円のような形は左右が空いてしまいます。作品が小さくなるので、星とそれをつなぐ棒を作って組み合わせるといいでしょう。

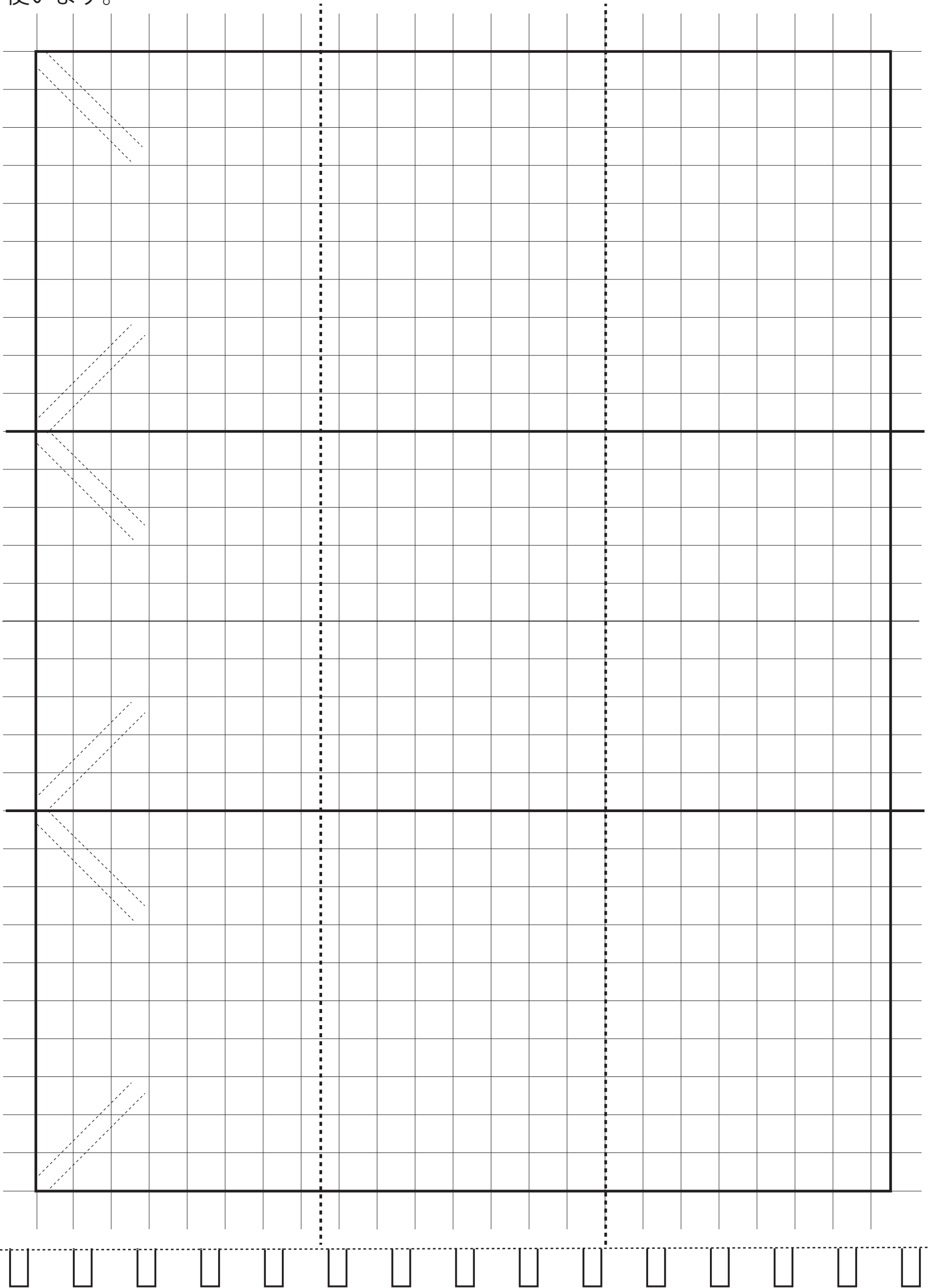


図エプリント 「形をつないで」 ③

年 組 名前

○このプリントは 30cm×22.5cm の板を 9 枚に分けるためのプリントです。

図案によっては、点線の位置を変更することができます。3 枚目の板の図案としても使います。



図エプリント 「形をつないで」 ④

○22.5cm×22.5cm（点線部分）を目安に、土台となる板の形を考えましょう。
残りは、板つなげる形を作っても、かざりになるようなものを作っても OK

